

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	重量物取り扱い時において、右肩を負傷し、資機材を落下しそうになった事例
3. 体験した事例の中心的要素	朝の事業点検時、救急車の右側スライドドア内収納庫に積載されている、オートパルス人工重量物取り扱い時において、右肩を負傷し、資機材を落下しそうになった事例 蘇生器(総重量11.55キログラム)を点検しようと、キャリングケースの持ち手を右手で握み収納庫から取り出した際に、荷重がかかり右肩部を脱臼したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	平常時から行っている作業内容の慣れから、片手で作業を行ったため。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意思決定に問題があった
------------------	----------------

【体験した事例について】

1.	発生日時	平成25年2月14日 午前9時頃
2.	発生した当時の天候	晴れ
3.	発生した活動現場	屋内：車庫内
4.	体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した
5.	事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6.	どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他(脱臼)
7.	事例体験時の活動	その他(始業点検時)
8.	(7の活動中)どのような作業中に発生したか	
9.	同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

資機材を取り扱う際には、一人では行わず、必ず補助者をつける。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

再現写真

右側より撮影 (収納庫から取り出し、右腕が伸びきった状態)

加重がかかり、下方に伸びた
右腕

オートパルス人工蘇生器



左側より撮影 (収納庫から取り出し、右腕が伸びきった状態)



オートパルス
人工蘇生器